

支援プログラム

○ あそぼ(放課後等デイサービス)

2025年3月1日作成

法人理念	「自立」と「自律」ができる子どもを育てる
支援方針	一人ひとりに合わせて作成した計画書に基づき、活動や療育を行い、生きる力を育みます。 保護者の方が気軽に立ち寄れる場所として、また子どもたちの心地よい居場所を提供します。
営業時間	8時30分から17時30分まで(月～金曜)
療育時間	14時30分から17時30分まで(月～金曜)
送迎実施の有無	あり(要相談)
支援内容	
本人支援	
健康・生活	「手洗い」「荷物の片付け」「排泄」「水分補給」「衣服の調節」など基本的な生活スキルの向上を目指します。また日常生活や社会生活の中で状況に合わせた行動や、気持ちのコントロールが出来るよう支援します。身の回りの安全にも自分たちで心掛けられるよう支援します。
運動・感覚	トランポリンやバランスボールを使っての粗大運動や指先を使った微細運動、ビジョントレーニング等を通して、楽しみながら体の使い方やコントロールの仕方を身につけ、達成感や意欲を育てていきます。また、身体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援します。
認知・行動	「数・ことば」「ルールのある遊び」「日付・曜日・天候・スケジュールの提示」などを通して、概念形成の習得を促します。また「着席して活動する」「話を聞く」など課題に向かう学習の姿勢を支援します。個々の理解の仕方や方法を把握し、安心して過ごせるよう工夫します。
言語・コミュニケーション	個別または小グループで「絵本」や「言葉でのやり取り」を楽しみながら言語や表現の習得を促します。終わりの会で発表する機会を持ち、自分の気持ちや経験を伝え、相手の意図が理解できるよ支援します。また、あいさつや会話など自分も周りも大切にするコミュニケーションを学べるよう支援します。

人間関係・社会性	「挨拶」「ルール」「マナー」「感謝」「謝罪」「順番交代」など社会生活で活躍するソーシャルスキルの習得を目指します。小集団の関りの中で子持ちのコントロールの仕方を経験したり、集団で発生する様々な人間関係において相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考え、支援します。
その他支援	
家族支援	療育内容やお子様との適切な関わり方をアドバイスします。また保護者の悩みや困りごとを聞き対応を助言したり療育の中で対策に取り組みます。お子様の成長を共に確認し、きょうだい児に関する悩みごとにもアドバイスを行います。 保護者向けの講習会や、月1回程度行う事業所内でのお話を案内します。(カフェあそぼ:自由参加) 月1回程度お便りを出します。(事業所内でのお子様の姿や、子育てアドバイス、お知らせなど)
移行支援	基本的な学習姿勢を形成し、学校での集団生活に必要なスキルの獲得と困った行動への対応を支援します。進級に向けての準備に取り組み、スムーズな移行を目指します。
地域支援・地域連携	各関係機関(学校や相談支援事業所、他の通所先)との連携をはかり、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組みや支援会議への参加を通して、お子様とご家族が安心して過ごせる環境づくりに努めます。
職員の質の向上	施設内研修での講義や実習指導、SVによる実技指導と支援方法への助言、オリジナルのテキスト・動画によるプログラム理解の推進、施設外研修の派遣を行います。また保護者や関係機関と合同勉強会を実施します。
主な行事等	避難訓練(不審者・風水害・地震・火災)を実施します。